

7つのゲートウェイセキュリティ対策機能に加え、無線LANアクセスポイント機能を一台に集約

UTM（統合脅威管理）Wi-Fi対応モデルを発売



UTM（統合脅威管理）Wi-Fi対応モデル<BP-X1CPシリーズ V80W>

シャープは、ネットワークセキュリティを統合的に管理するUTM（Unified Threat Management・統合脅威管理）BP-X1CPシリーズにおいて、新たにWi-Fi対応モデルを発売します。オフィスで求められるゲートウェイセキュリティ対策機能に加え、無線LANアクセスポイント機能を一台に集約。中小企業などにおけるセキュリティシステムや無線LAN環境の整備から運用・管理までの一連業務の効率化を支援します。

本機は、「ファイアウォール」、「IPS（侵入防御システム）」、「アンチウイルス」、「アンチスパム」、「URLフィルタリング」、「アプリケーション制御」、「アンチボット」の7種類のセキュリティ対策機能を搭載。複数のセキュリティ対策サービスやハードウェアを個別に導入する手間やコストを削減し、日々の運用・管理の一元化を実現します。ベースエンジンは、サイバーセキュリティ分野のリーディングカンパニーであるチェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ社^{*1}製を採用。強力なセキュリティ対策能力と高速処理を両立しました。また、無線LANアクセスポイント機能も搭載しているので、一台でセキュアな無線LAN環境の構築が可能です。

さらに、本機を導入のお客様には、検知・防御した脅威^{*2}やリスクの高いアプリケーションの利用状況などを報告するセキュリティレポートを毎月メールで配信します。

品名	シリーズ名	形名	希望小売価格	発売時期
UTM（統合脅威管理）	BP-X1CP	V80W（スタンダード）	オープン	2021年1月中旬

■ 主な特長

1. 新たにWi-Fiに対応。7種類のセキュリティ対策機能と無線LANアクセスポイント機能を一台に集約し、ネットワークセキュリティ環境整備から運用・管理までの一連業務を効率化
2. チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ社製の高性能エンジンを採用
3. 検知・防御した脅威などを報告するセキュリティレポートを毎月メールで配信

^{*1} 本社所在地：イスラエル、テルアビブ。CEO：Gil Shwed（ギル・シュエッド）。米調査会社ガートナー社の2018年度「Magic Quadrant for Unified Threat Management（SMB Multifunction Firewalls）」分野において、7年連続でリーダー・クアドラントに選出されています。

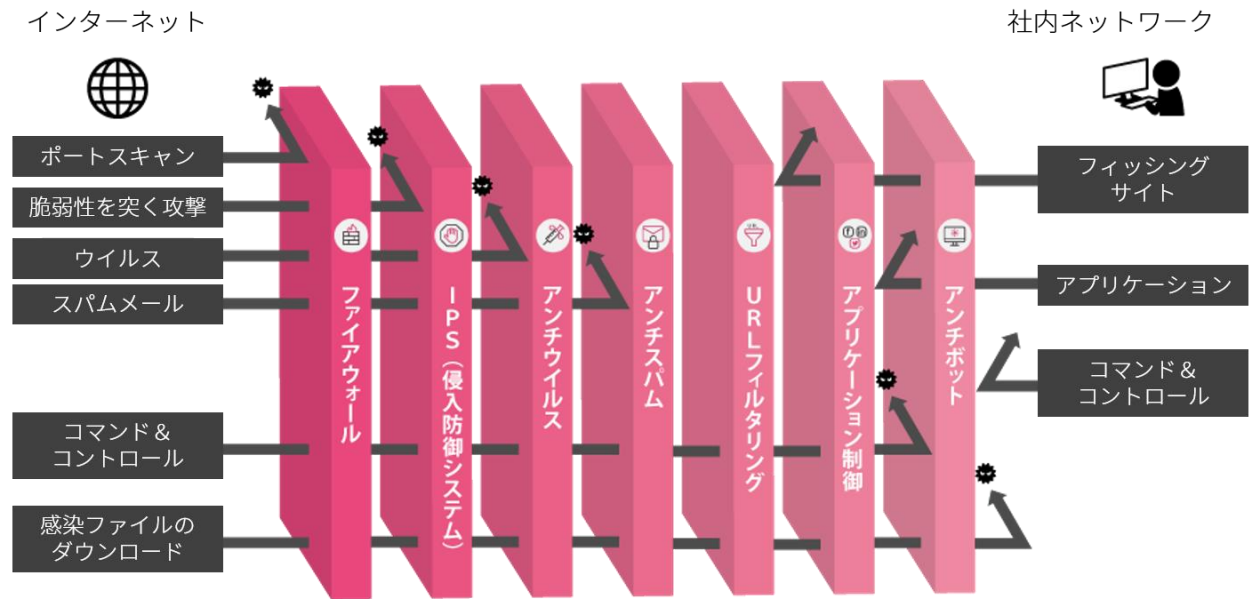
^{*2} マルウェアの侵入や、不正アクセスによる攻撃。

【 ホームページ 】 <https://corporate.jp.sharp/>（画像ダウンロード <https://corporate.jp.sharp/press/>）

【 本 社 】 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

【 お客様お問い合わせ先 】 シャープマーケティングジャパン(株) ビジネスソリューション社
新規事業統轄部 COCORO OFFICE推進部 e-mail: cocoro_office_info@sharp.co.jp

■ UTM<BP-X1CPシリーズ>によるセキュリティ対策イメージ



■ 主な仕様

品名	UTM (統合脅威管理)
シリーズ名	BP-X1CP
形名	V80W (スタンダード)
NGFWスループット	600Mbps
NGTX脅威対策スループット	340Mbps
ファイアウォールスループット	1,500Mbps
WAN	10/100/1000Base-T RJ-45ポート ×1
LANスイッチ	10/100/1000Base-T RJ-45ポート ×5
Wi-Fi®	IEEE802.11 b/g/n/ac MIMO 3×3
無線対応電波帯域	2.4/5GHz ※バンド同時利用不可
コンソールポート	USB-C ×1
USBポート	USB 3.0 ×1
寸法 (幅×奥行×高さ)	210 × 160 × 37.5 mm (アンテナ部を除く)
質量	約0.44kg (アンテナ部を除く)

● Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。

● その他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。